

令和5年度第4回音更町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

会 議 名	令和5年度第4回音更町地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和6年3月26日（火）午後4時15分から午後5時まで
開 催 場 所	音更町役場3階特別会議室
委 員 出 席 者	宮原会長、深谷職務代理、長沢委員、小森委員、村上委員、久保委員、塚本委員、嶋崎委員代理、大立目委員、竹内委員、堀田委員、高瀬委員、高橋委員
事 務 局 出 席 者	大井事務局長、川村事務局員、塩越事務局員
議 題 ・ 諮 問 内 容	<p>(1) 議案第1号 コミュニティバスへのフリー降車制度の本導入について</p> <p>(2) 議案第2号 宝来・ひびき野地区を対象にしたバスの乗り方教室について</p> <p>(3) その他</p>
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	<p>(1) 議案第1号・議案第2号 議案のとおり承認された。</p> <p>(2) その他 来年度の協議会の開催スケジュールについて、次のとおり全3回の開催を予定しているとの説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね6月頃（書面開催方式） 事業報告、新年度の事業計画案、乗合タクシーの運行で活用しているフィーダー補助の計画申請などについての協議 ・おおむね9月頃（会議方式） コミバスのダイヤやルートの見直し、大型商業施設などへの乗り入れなどを進める利便性向上策の素案についての協議 ・おおむね12月頃（会議方式） 前記会議での意見などを踏まえた利便性向上策の案、フィーダー補助の事業評価についての協議
出された主な意見等	<p>議案第2号</p> <p>○ バスの乗り方教室に参加したが、公共交通を利用して自家用車の利用を10分控えることで、二酸化炭素の排出量削減に効果があること、キャッシュレス決済により運賃をスマホで支払うことができることなどを新たに知ることができ、大変有意義な内容であった。また、利用者が減ることにより、減便が進んだり、沿線自治体の補助額も増加することから、帯広駅と市街地を結ぶだけではなく、東京都のはとバスのように、十勝の魅力あふれる観光地を周遊するルートを新たに設定するなどの新たな取組の必要性も実感した。</p> <p>→ ご意見のとおり、バスの利用者が減ることで減便につながることを私どもも恐れている。このため、両バス会社のご協力をいただきながら、このような勉強会を他の地域でも開催していき、路線バスにより親しんでもらいながら、利用することのメリットや便利な利用方法などについて地道にPRしていきたい。</p> <p>また、十勝の魅力あふれる観光地を結ぶルートについても、両バス会社で、乗車券と施設利用券などがセットになったチケットを販売しているので、積極的にPRしていく。</p>

	<p>○ バスの乗り方教室の意義は非常に大きいと感じている。目的地まで路線バスで移動する場合に、乗り換えが必要になるときは、面倒だと感じて、タクシーや家族の送迎に変更する人も多いが、今回のように乗り換えを実際に体験し、帯広駅からの乗り換えで各方面に移動できることを実感していただくことで、そのハードルが下がることから、こうした取組を地道に継続していくことが大切である。</p> <p>また、路線バスと観光地を結ぶチケットについても、これまで以上にPRし、地元の人のみならず、インバウンドなどの地域外の人にも多く利用してもらうことで、路線を維持していく必要があると感じている。このため、バスの多言語化のほか、インバウンドの人にも優しい支払方法としてのキャッシュレス決済などの取組を強化して、皆さんのご協力を得ながら積極的にPRしていきたいと考えている。</p> <p>○ 路線バスは赤字路線がほとんどで、国や道、沿線自治体の補助金で運行され、利用者の減少や運転手不足などにより各地で減便が行われているが、利用者のニーズを踏まえて運行していくことで、減便などを行わず、将来的にも路線を維持できるよう、路線バスを守っていかねばと感じている。こういった機会を通じて、皆さんに路線バスを利用しなければ維持できないかもしれないという危機感を持ってもらい、また、子どもたちには、バスの運転手はカッコいい、バスは乗り心地が良く、景色も良いなどと感じてもらえる貴重な機会になったので、今後も町などと連携しながら、取組を継続していきたいと考えている。</p> <p>→ 路線バスと観光地がセットになったチケットなどについては、公共交通を維持するという観点から、広報おとふけに掲載することも可能だと考えられ、また、バスの乗り方教室についても、他の地域で継続して実施していきたいと考えており、これらのことを踏まえながら、新年度も公共交通の維持に向けた取組を可能な範囲で進めていく。</p> <p>○ 町内会の班回覧で案内チラシが回ってきたが、路線バスの体験なのか、コミバスの体験なのか、わかりにくかったという意見や、コミバスの無料券などをもらえることも十分に伝わっていなかったようなので、次回以降実施する際には、これらの点を上手にPRすることで、参加者の増加につながると思われるので、参考にしてほしい。</p> <p>→ ご意見を参考に、次回以降は、こうした点がしっかりと伝わるようチラシを作成していきたい。</p>
お 問 合 せ 先	事務局 音更町企画財政部企画課企画調整係（内線212）